

榎本れい

県議会報告

2024年
春号

Vol.4

プロフィール

1995年1月12日生まれ(29歳) / 野田市立川間小学校 卒業 / 野田市立川間中学校 卒業 / 千葉県立関宿高等学校 卒業 / 大正大学 表現学部 入学(母の病死に伴い、経済的自立を図るため中途退学) / 観光ホテル勤務(派遣社員) / オーストラリアでのワーキングホリデーを経験 / 自営業(映像制作・編集など) / 2023年千葉県議会議員選挙 初当選(10,762票)

千葉県議会 令和6年2月定例会 一般質問を行いました



令和6年2月29日、「令和6年2月定例会」において、県議会議員としてはじめての登壇をいたしました。今回の県議会報告は行った質問のうち、2つについて取り上げるとともに、質問に対しての県執行部の答弁(要約)を紹介します。

一般質問の様子は
こちらから
ご覧いただけます



職場における ハラスメント対策について

Q 職場における人材定着のため、ハラスメント対策が重要と考えますが、意見を伺います。

A <熊谷知事>
職場におけるハラスメントは、働く人の仕事に対する意欲の低下や心身の不調を招くばかりでなく、離職にもつながることから、貴重な人材の定着の観点からも、適切な対策を講じることが必要です。

- 意識改革や相談窓口設置などの対策について周知(企業の経営者などを対象)
- 社内研修実施、相談体制整備(専門家を派遣)
- 職場のハラスメントに悩む方への支援(社会保険労務士、臨床心理士による助言・相談)

Q 企業におけるカスタマーハラスメント対策を進めるため、どのように取り組んでいるか伺います。

A <商工労働部長>
カスタマーハラスメントは、企業にとっての「顧客」が加害者となるものであり、正当なクレームとの区別や、社外の相手方への注意喚起等が難しいという特殊性がある

カスタマーハラスメントとは、暴行・脅迫・暴言・不当な要求といった、顧客による著しい迷惑行為を示します。(Wikipediaより)

A つぎ
ため、他のハラスメントとは異なり、事業主による対応の義務化までには至っておりません。

- 対応のポイントや好事例を開設する講座を開始(令和3年度から)
- 職場環境に関する事業者アンケートによる調査実施(カスタマーハラスメントの状況や、対策を講じる際の課題などについて)
- カスタマーハラスメント対策の充実について検討

要望

千葉県としても議論や調査を重ね、国の広報啓発活動や相談に頼るだけでなく、**カスタマーハラスメント防止に関する条例を制定されることを強く要望**します。



いじめ・不登校対策について

令和4年度の県内公立学校における、いじめ重大事態は令和3年度より33件増加し、63件とおよそ2倍になっています。



Q いじめの重大事態が発生した場合の今後の県の取り組みや、令和5年度のSNSを活用した相談事業の実施状況、また、令和6年度の予定について伺います。

A <教育長>
直ちに被害児童生徒の安全を確保するとともに、迅速に事案の全容を解明し、再発防止に万全を期すことが重要と考えています。

■ 令和6年度に必要経費を当初予算案に計上(重大事態が発生した学校に速やかに派遣、教員等に専門的な助言を行う人材の採用)

■ 相談は令和5年12月時点で2,723件(中高生対象に週3日の相談日を設定、受付時間は18時から22時)

* 令和6年度は小学校4年生以上の児童も対象予定

要望 いじめ問題専門家の活用で、問題解決に向けて支援体制を強化、また、**SNSを活用した相談事業の24時間対応を要望**します。



Q 私自身、母子家庭で高校生の時に母を亡くし、残された兄弟で生きていくことを経験しました。不登校も経験し、振り返れば「支援が必要な生徒」であったと認識しています。行政や関係機関との橋渡しを行う人材が必要不可欠であるため、スクールソーシャルワーカーを増員し、相談体制の充実を図るべきと考えますが、意見を伺います。

A <教育長>
児童生徒を取り巻く課題が複雑・多様化する中で、児童生徒が置かれた環境の改善に向けて、様々な調整を行うスクールソーシャルワーカーの役割は大変重要であり、相談件数も増加傾向にあります。

■ 来年度はスクールソーシャルワーカーを10名増員(現在は全県で54名配置、令和6年度当初予算案に計上)

■ 教育相談体制の一層の充実を図る(資質に優れ、経験が豊かなソーシャルワーカーのうち5名をスーパーバイザーに任命)

要望 今後は、「**全校配置**」を目標に増員し、県内の児童生徒が迅速にサポートを受けられる体制を維持強化するよう要望します。

その他の一般質問

子ども

- 児童虐待防止について
- 子ども医療費助成について
- 放課後子供教室の推進について

地域

- 関宿城博物館について
- 県土整備について



県政報告第4号を発行します。今回の一般質問は、主に子ども関連について行わせていただきました。引き続き、地元の皆さまの声を榎本怜までお寄せください。

千葉県議会議員 榎本 怜

S N S て つ な が ろ う フォローしてね

Facebook
榎本怜(榎本れい)

X (Twitter)
榎本れい

LINE
榎本れい

E-Mail
榎本れい



つくろう、千葉県政に対する新しい答え。ご意見・ご相談は、**榎本れい**まで

070-8478-7112